

## 写真美術館図書室

写真・映像に関する専門図書室として、国内外で出版された写真集を中心に、評論、写真史・映像史、技法書、一般美術書、展覧会カタログ、専門雑誌、美術館ニュース、パンフレットなどの収集、整理、保存を行い、一般に公開している。また当館の美術館活動に必要な研究、調査や展示会準備などに必要な資料、情報の提供を行っている。

### ● 資料の収集

- ・ 平成16年度受入冊数

	和書	洋書	和雑誌	洋雑誌	年間増加冊数
購入	192	66	145	441	844
寄贈	924	320	296	81	1,621
小計	1,116	386	441	522	2,465

蔵書総数56,916冊

### ● 資料の整理

- ・ 特別整理

平成16年度は、平成17年2月20日（日）～24日（木）と3月7日（月）～11日（金）の10日間に所蔵雑誌目録作成のための所蔵調査を行った。対象は洋雑誌135タイトル、約3,000冊である。

- ・ 図書資料保存対策

破損等のある図書資料の修復（外注）をすることによりその保全を図った。また、中性紙箱・保存用封筒等を活用し保存に努めた。

### ● サービス業務

- ・ 閲覧サービス

専門図書館として一般公開しているが一般利用者への館外貸出は行っていない。資料の検索は、閲覧室に設置されたコンピューター2台で検索できるようになっている。

また「新着図書コーナー」、「展覧会関連図書コーナー」（奈良原一高展、ウィリアム・クライン展、明日を夢見て展）を設け継続的に展示を行っている。

- ・ レファレンスサービス

写真、映像に関する図書資料についての質問および所蔵状況についての問い合わせに応じている。来室者からの問い合わせの他、電話、文書での問い合わせにも応じている。これらの質問についての回答は、今後のサービスに役立つものは、記録票を作成し、ファイルして活用している。

- ・ 複写サービス

当室所蔵の資料について著作権の範囲内で複写サービスを行っている（モノクロのみ）。

### ● 平成16年度 利用統計（平成16年4月～平成17年3月）

月	開室日数	入室者数	出納冊数	レファレンス件数	コピー枚数
16年 4	26	2,387	1,341	201	986
5	27	2,564	1,325	184	836
6	26	2,492	1,137	188	1,283
7	27	2,646	1,225	188	1,620
8	26	2,303	1,069	149	932
9	26	2,892	1,180	254	1,423
10	27	2,453	902	225	705
11	25	2,210	887	190	813
12	24	2,046	908	126	692
17年 1	23	1,980	871	198	845
2	21	1,635	829	120	787
3	23	2,091	1,065	163	916
合計	301	27,699	12,739	2,186	11,838
1日平均		92	42	7	39

### ● その他

- ・ 他館展覧会への貸出は4件11冊であった。
- ・ 図書室への見学は41件あった（バックステージツアーも含む）。
- ・ 博物館学実習として実習生12名を受け入れた。



## 保存科学研究室

我が国最初の写真の保存・修復に関する当研究室では、写真保存用包材、修復用材料などの写真適正試験をはじめ、各種写真の保存条件、展示照明条件などの最適化研究を行っている。また、画像劣化原因の排除、劣化画像の復元処理などを含む保存科学全般にわたる調査研究も進めている。

### ●今年度の研究内容

長期保存用写真包材の経年劣化が写真画像に与える影響に関する研究は、千葉大学との共同実験で進められた。ここに、紙自体の自動酸化（経年劣化）から有機酸が発生するという研究報告がある。一般的に使用されている保存用写真包装材料は紙製であるため、この報告は、写真包材の経年劣化に伴って有機酸が発生し、写真画像に影響を与える可能性を示唆していることになる。写真包材に使用される紙を強制劣化させた場合に発生する有機酸の定性・定量を行ない、紙製の写真包材が写真資料の劣化の主要因に成り得るかどうかについて考察した。

この実験結果については、平成17年5月に開催される、文化財保存修復学会第27回大会・ポスターセッションおよび平成17年度日本写真学会年次大会・インタラクティブセッションにて報告予定である。

### ●教育・普及活動

今年度開催された古典技法ワークショップ「コロジオン・プロセス～ガラス湿式原板と鶏卵紙～」では、当研究室はコロジオン湿板制作に協力した。

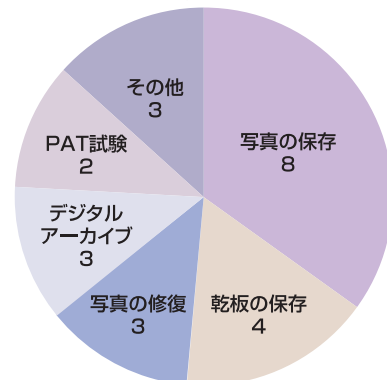
昨年度に引き続き、一般の方々に美術館の施設・舞台裏を紹介する写真美術館ガイドツアーを開催し、当研究室においては、古典写真のサンプルを見ながら技法の解説および写真の保存方法等について説明した。

館内のみならず、外部からの写真保存に関する問い合わせに応じることも当研究室の重要な業務となっている。問い合わせ内容および件数を図1に示す。特に最近では、乾板の保存方法やその画像のデジタル化についての相談が増加傾向にある。これは、写真が二次資料的扱いから見直され、写真を収蔵している美術館、資料館や公文書館などから写真、フィルム及びガラス

乾板の保存方法や保存環境の整備に関心が向けられた結果であろう。

また、毎年実施している博物館実習では、カリキュラムの一部として、保存科学研究室においては、実習生に対し写真特性の解説、作品保存環境の見学、保存用写真包材の交換実務等の指導を行った。本年度初めて受け入れたインターシップ（就業体験）でも、保存という観点から美術館業務について説明し、保存業務の補助を依頼した。さらに、スクールプログラム、博物館学を通して、写真保存の普及・教育活動等も行っている。

図1.問い合わせ内容および件数



※PAT (Photographic Activity Test)

### ●収蔵作品の保存環境整備

過年度における当研究室の実験により、従来の輸入保存箱に使用されている糊や、透かし模様があり弱アルカリ性の間紙は、写真画像に悪影響を及ぼす可能性が示唆されたため、一昨年よりJISK7617（写真包材の写真画像への影響度試験方法）に合格した国産品への交換を行っている。併せて、作品の状態を確認、以降、適切な保存箱の作製、収蔵作品の保護処理や修復を順次行なっている。

今年度は以下の収蔵作品に修復および保護処理をおこなった。

・NOUVE AU LOUVRE & PALAIS DU DES TUILERIES  
MOTIF DE DECORATION SECONDO PARTIE  
DECORATIONS EXTERIEURES

作品は、ヘリオグラフィアが100枚収められた半革装アルバムで、表紙革の背が外れ、天地の革の欠損とクロスの磨耗による破れ、ノドのクロスの切れが認められたため処置した。

・ JAPAN AND HAWAI

作品はアルビュメントプリントが80点収められた半革装アルバムで、背の破損や一部欠落、表面剥離、角革部や見返しの欠損、綴じの緩みが認められたため処置した。

・ VIEWS & COSTUMES OF JAPAN

作品は、手彩色を含むアルビュメントプリントが99点収められた総革装アルバムで、表紙革のノドの切断、背の天地および表紙角の痛み、キャラコ足の糊のはがれが認められたた

め処置した。

また、収蔵庫および展示室の環境維持のため、毎月1回空気質のモニタリングを実施している。これは、収蔵庫・作業室・展示室29カ所に、コンクリートから放出するアルカリガス、あるいは木材等から放出される酸性ガスによる空気汚染を検出する簡易計測紙を吊り下げ、一昼夜後の色を基準色票と比較して判定するものである。これによって、画像劣化原因になる有害ガスを放出する物質（塗料、糊、ダンボール等）の有無を確認する。また、空調フィルター（酸性・アルカリ・有機酸除去）効果の持続を知る手立てとなっている。

● NOUVE AU LOUVRE & PALAIS DU DES TUILERIES MOTIF DE DECORATION SECONDO PARTIE DECORATIONS EXTERIEURES



修復前



のどのクロスの補強



修復後

● JAPAN AND HAWAI



修復前



見返しの欠損



修復後

● VIEWS & COSTUMES OF JAPAN



修復前 背



修復前 小口



修復後

## 収集の基本方針／作品収集実績

写真作品（オリジナル・プリント）を中心に、写真文化を理解する上で必要なものを、幅広く収集する。

### [写真作品]

1. 国際的な視野に立って、国内外の芸術性、文化性の高い作品を幅広く収集する。
2. 写真の発生から現代まで、写真史の上で重要な国内外の作家・作品を幅広く、体系的に収集する。
3. 歴史的に評価の定まった作品を重視するとともに、各種の展覧会等で高い評価を受けた作家・作品の発掘に努め、現代から未来を展望した収集を行なう。
4. 東京を表現、記録した国内外の写真作品を収集する。
5. 日本の代表的作家については重点的に収集し、その作家の創作活動の全体像を表現し得る点数を収集する。

### [写真資料]

1. 出版物（写真集、専門書、雑誌等）については、写真文化に関するものを歴史的、系統的に収集する。
2. ネガフィルムの類については、作家・作品研究などに必要と考えられるものを収集する。
3. ポスターなど、写真展の付属資料（図録、チケット等）を収集する。
4. その他、作家や作品の関連資料、周辺資料を適宜収集する。

### [写真機材類]

1. 写真の原理と発掘の歴史、ソフトとハードの接点を理解させる展示に必要なものを収集する。
2. 体験学習などの事業活動に必要となるものを収集する。

### [映像資料]

1. 映像文化史を展示するのに必要な映像資料を系統的に収集する。
2. 体験型の展示を行なうため、映像装置などのレプリカや模型を計画的に製作する。
3. 日本およびアジアの映像文化史についての調査研究を進め、重要な映像資料を収集する。
4. 各映像ジャンルの代表的な映像資料および芸術価値の高い作品を収集する。

### [作品の収集の目標]

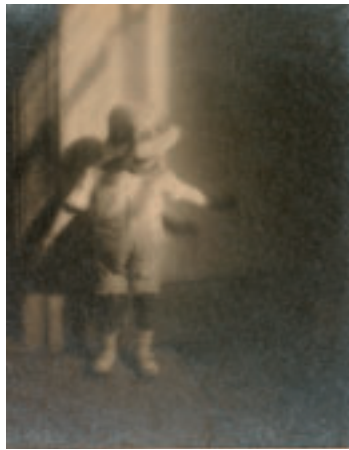
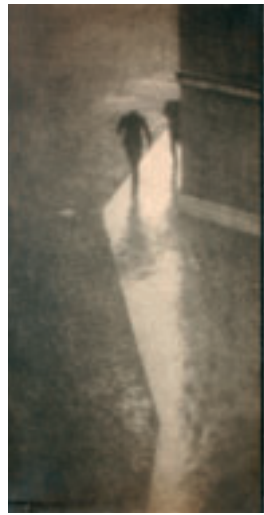
1. 長期収集計画＝75,000点以上  
内訳：写真作品（国内・海外50,000点以上、写真作品以外の資料25,000点以上）
2. 平成17年3月末現在収集点数＝22,603点  
内訳：国内14,719点／海外4,925点／映像作品2,127点／写真資料787点  
(平成11年以降、都の会計による作品購入はない。)

## ●作品収集実績

作家名及び代表作品名	点数	収集方法	撮影年	技法
田村栄『多摩川の鳥』	96	寄贈	1953～1961	ゼラチン・シルバー・プリント
広田尚敬「永遠の蒸気機関車」	43	寄贈	1964～1975	タイプCプリント、ゼラチン・シルバー・プリント
河野龍太郎「肖像」他	76	寄贈	1920～1930	ブロムオイル
林平吉「円の静物」	1	寄贈	1925	3色転写カラープリント
井手傳次郎「題不詳（女性像）」他	294	寄贈	1920～1930年代	ゼラチン・シルバー・プリント
川田喜久治「地図」	18	寄贈	1959～1965	ゼラチン・シルバー・プリント
新井宗三郎「静寂」	1	寄贈	推定1930～1960年代	ゼラチン・シルバー・プリント
時枝誠二「朝暁」	1	寄贈	推定1930～1960年代	ゼラチン・シルバー・プリント
佐久間兵衛「駅所見」	2	寄贈	1931	ブロムオイル、ゼラチン・シルバー・プリント
George S.Zimbel「Woman at the Bar,Bourbon Street,New Orleans」	10	寄贈	1955	ゼラチン・シルバー・プリント
Ben Shahn「F S Aシリーズより」	9	寄贈	1935	ゼラチン・シルバー・プリント
Ruth Orkin「Man in rain,Drunken Women,VEDay」	3	寄贈	1945～1952	ゼラチン・シルバー・プリント
Morris Engel「Coney Island embrace」	1	寄贈	1938	ゼラチン・シルバー・プリント
Dorothea Lange「F S Aシリーズより」	6	寄贈	1930年代後半	ゼラチン・シルバー・プリント
Arno Rafael Minkinen「Self-portrait,Mattomies,No7,1983」他	3	寄贈	1983～2000	ゼラチン・シルバー・プリント
Vladimir Birgus「Barcelona」他	4	寄贈	2002	その他のカラー写真
撮影者不詳「二人像」	2	寄贈	1860～1870	ティンタイプ
山本讀七郎関係資料（写真プリント以外の資料）	一式	寄贈		
合計	570			

収蔵作品の紹介

●井手傳次郎



●林平吉



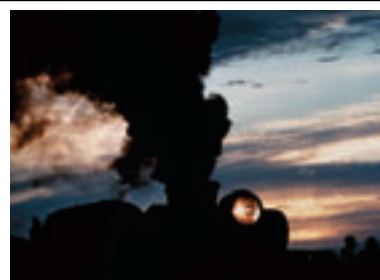
●時枝誠二



●河野龍太郎



●広田尚敬



●田村栄



●新井宗三郎



● Benn Shahn



● Dorothea Lange



● George S. Zimbel





● Ruth Orkin



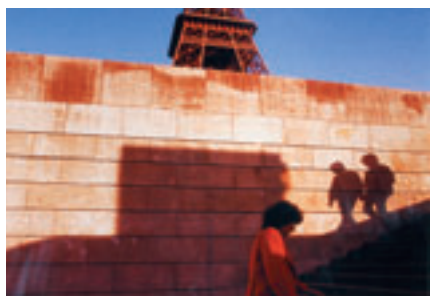
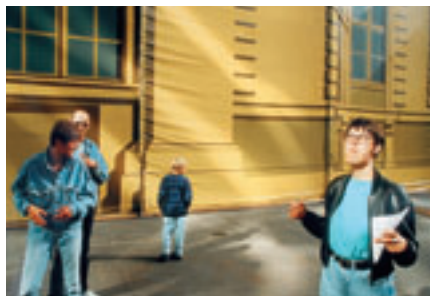
● Morris Engel



● Arno Rafael Minkinen



● Vladimir Birgus



## 収蔵作品貸出一覧／プリントスタディールーム

### ●収蔵作品貸出一覧

貸出先	展覧会名	貸出期間	点数
旧新橋停留所	ニッポンを見た 幕末・明治の外国人	平成16年6月8日-平成16年7月25日	2
新潟市美術館	牛腸茂雄展	平成16年8月6日-平成16年10月24日	24
エコール・ド・パリ 夢と哀愁共同巡回展実行委員会	エコール・ド・パリ 夢と哀愁	平成16年8月30日-平成16年12月24日	21
横浜美術館	失楽園:風景表現の近代 1870-1945	平成16年9月25日-平成16年12月25日	9
埼玉県立近代美術館	佐藤時啓 光のキャラヴァン	平成16年10月20日-平成17年1月30日	6
岡山県立美術館	緑川洋一とゆかりの写真家たち	平成17年1月14日-平成17年2月20日	18
国立国際美術館	オノデラユキ写真展	平成17年2月5日-平成17年4月17日	3

### ●プリントスタディールーム

当館では、写真作品・資料の収集を行い、展覧会等で展示・鑑賞をおこなっておりますが、研究・鑑賞のために直接作品等を閲覧する特別閲覧（プリントスタディールーム）制度を設け、一般来館者へのサービスをおこなっています。

特別閲覧日時（予約制）

毎週木曜日 午後1時～6時

特別閲覧料金

作品等1点につき340円（閲覧当日支払い）

### ●月別申請一覧

月	申請者数（人）	申請点数（点）	閲覧点数（点）
4月	1	6	6
5月	2	15	15
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	1	7	7
9月	2	18	18
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	1	10	10
2月	0	0	0
3月	0	0	0
合計	7	56	56

## 貸出施設利用状況

事業名 区分	ホール			3階展示室			2階展示室			地下1階展示室			創作室			
	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	利用 件数	稼働率
4月	26	26	100.0%	26	26	100.0%	26	27	100.0%	26	20	76.9%	26	3	3	11.5%
5月	27	27	100.0%	27	26	96.3%	27	27	100.0%	27	24	88.9%	27	11	5	40.7%
6月	26	26	100.0%	26	26	100.0%	26	24	100.0%	26	26	100.0%	26	10	4	38.5%
7月	27	27	100.0%	27	27	100.0%	27	26	100.0%	27	23	85.2%	27	12	4	44.4%
8月	26	26	100.0%	26	21	80.8%	26	27	100.0%	26	26	100.0%	26	8	5	30.8%
9月	26	23	88.5%	26	26	100.0%	26	25	88.5%	26	22	84.6%	26	5	2	19.2%
10月	27	24	88.9%	27	19	70.4%	27	27	88.9%	27	25	92.6%	27	8	4	29.6%
11月	25	25	100.0%	25	23	92.0%	25	26	100.0%	25	22	88.0%	25	7	4	28.0%
12月	24	24	100.0%	24	24	100.0%	24	23	100.0%	24	22	91.7%	24	8	3	33.3%
1月	26	26	100.0%	26	26	100.0%	26	26	100.0%	26	26	100.0%	26	8	5	30.8%
2月	25	25	100.0%	25	25	100.0%	25	25	100.0%	25	21	84.0%	25	10	5	40.0%
3月	27	27	100.0%	27	26	96.3%	27	26	96.3%	27	23	85.2%	27	6	5	22.2%
合計	312	306	98.1%	312	295	94.3%	312	305	97.8%	312	280	89.7%	312	96	49	30.8%

## ● 設立の目的

当館では、日本における写真・映像文化のセンター的役割を果たしていくとともに、世界との交流の輪を広げ、国際的な文化交流の拠点となるよう、また開かれた参加型の美術館として広く皆様から愛される美術館となるよう努めている。具体的には開館以来、日本及び海外の優れた写真・映像作品をさまざまな視野から捉えた展覧会を行ったり、講演会やフロアレクチャー、ワークショップ等による教育普及活動、写真の保存に関する研究などに向けての取り組みを行っている。

これらの役割を果たしていくためには、もとより公立美術館として基本的な運営費は東京都が支えるものであるが、さらに皆様からのご支援・ご援助を賜ることにより、より多彩に充実した活動を展開していくことが出来るという趣旨のもとに維持会員制度を設立したものである。

## ● 維持会員募集要項

### 1. 募集対象

企業・団体等

### 2. 維持会費

法人会員 1口 年30万円より

### 3. 維持会員入会お申込み先

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

東京都写真美術館 維持会員担当

TEL 03-3280-0031

FAX 03-3280-0033

## ● 法人維持会員の特典

### 1. 顕名

法人名の館内掲示、東京都写真美術館刊行の写真美術館ニュース、ホームページへの掲載。

### 2. 主催展覧会招待

主催各展覧会毎に招待券、およびカタログを進呈。

### 3. 展覧会特別鑑賞会招待

オープニングレセプション、特別鑑賞会へのご招待。

### 4. 情報提供

当館ニュース、出版物のご送付。また催事についての事前の情報提供。

### 5. プライベート・パーティ会場提供

法人主催のパーティに対する当館ロビー等の施設の提供。

### 6. 館長および当館関係者との懇談

写真映像文化振興支援協議会主催のもとに随時懇談会を開催。



法人維持会員顕名板（2階ロビー）

## ● 維持会員会費の主な使途

維持会費は当面東京都写真美術館の次のような活動に充当する。

### 1. 写真・映像収蔵品の充実

寄贈・寄託以外のコンテンポラリー作品、海外作家作品の購入の一部に充当し、収蔵品の充実をはかる。

### 2. 新進作家の発掘と育成

作品発表の場の提供を通じて新進作家の育成に寄与する。

### 3. 企画展関係

主催・収蔵・映像展以外の自主企画展等（市民参加型展示会等を含む）の充実をはかる。

### 4. 国際交流関係

海外各国の写真美術館との交流展示、国際シンポジウムの開催等国際交流を促進する。

### 5. 対外サービス活動の支援

スクールプログラム、ワークショップ、ライブラリー活動などの対外サービス活動の促進をはかる。

### 6. 国内関係先との交流

国内の関係美術館との交流を活発化するとともに維持会員の皆様方を中心とする支援協議会懇談会を開催する。

● 写真映像文化振興支援協議会

本協議会は維持会員を中心として設立された団体で、東京都写真美術館の活動の支援を目的とした事業を展開している。

1. 平成16年度事業報告

- (1) 維持会員の募集を積極的に行い、平成16年度中の新規入会は37法人を数え、平成16年度末の総会員数は141法人となった。
- (2) 維持会員名を東京都写真美術館正面玄関ロビー頭名板に掲げると共に、「東京都写真美術館ニュース [eyes]」並びにホームページに掲載した。
- (3) 維持会員に対して、主催展覧会への招待、オープニングレセプション・特別鑑賞会・内覧会への招待を行った。
- (4) 第4回理事会を平成16年7月6日に開催すると共に、同日、維持会員、協賛企業懇親会を開催した。また併せて「世界報道写真展2004」、「奈良原一高 時空の鏡-シンクロニシティ展」の各展覧会見学を行った。
- (5) 自主企画展「ウィリアム・クライン『PARIS+KLEIN』写真展」、「PIERCING THE SKY-天を射る EIICHIRO SAKATA」展、「マリオ・テスティーノ写真展 ポートレート」について、重点的に開催経費支援を行った。
- (6) 写真・映像に関する資料・情報の充実・整備をはかるため、図書資料を購入し、東京都写真美術館図書室に蔵書として寄贈した。  
「日本写真保存センター（仮称）」設立計画および「あ・ら・かるちゃー 渋谷 恵比寿 原宿」ネットワーク形成等について経費支援を行った。

2. 理事会

協議会の理事会は以下の理事で構成されている。  
(平成16年6月現在) (社名五十音順)

理事長

滝川 精一 財団法人画像情報教育振興協会 特別顧問  
キヤノン販売株式会社 名誉会長

理事

菊川 剛 オリンパス株式会社 社長  
御手洗 富士夫 キヤノン株式会社 社長  
堀 義和 コダック株式会社 社長  
岩間 辰志 サッポロホールディングス株式会社 社長  
池田 守男 株式会社資生堂 社長  
北島 義俊 大日本印刷株式会社 社長  
足立 直樹 凸版印刷株式会社 社長  
嶋村 輝郎 株式会社ニコン 社長  
浦野 文男 ペンタックス株式会社 社長  
桜井 正光 株式会社リコー 社長

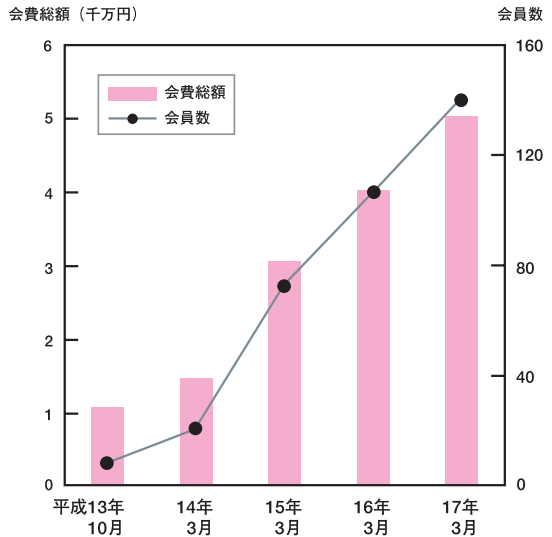
専務理事

末吉 哲郎 東京都写真美術館 参与



維持会員・協賛企業懇親会（2階ロビーにて）

法人維持会員数の推移と年間会費総額



予算額に占める自主財源の割合

